

『星を賣る店』クラフト・エヴィング商會著 平凡社 2014
「ないもの、あります」の謳い文句のもと不思議な商品を具現化し、自著や展覧会で取り扱っている「クラフト・エヴィング商會」のおかしな展覧会・星を賣る店の公式図録であると共に、商會の商品目録でもあり、彼らのベストアルバムでもある本です。書籍・雑誌などの装幀を含め、彼らが手掛けたデザイン・アート作品が提示する、物語に通じている扉を開いてみませんか？

『創竜伝1』田中芳樹著 講談社文庫 1993
この本は、昭和から令和まで述べ33年という長い年月をかけて完結した長編小説の文庫版です。凄まじい超能力を持つ4兄弟が世界を覆う巨悪に立ち向かうという分かりやすいファンタジー要素と勧善懲悪を楽しむことができます。更に、作者の現代社会に対する批判が最もストレートに表現されているとの見方もあり、発売当時の社会の問題点を垣間見ることができます。

『森のノート』酒井駒子著 筑摩書房 2017
『よるくま』『金曜日の砂糖ちゃん』などの絵本で知られる酒井駒子さんの初の画文集。これまで描いてきた絵36点にエッセイを加えた贅沢な1冊です。子どもや動物たちの切なくなるような可愛らしさはもちろん、心地よいリズムの文章にもきゅん♪東京の自宅と「山の家」を行き来するなかで起こったできごとの数々、一緒に想像してみませんか？

『内なる町から来た話』ショーン・タン著 河出書房新社 2020
25の物語。人類を訴えた熊、時代を超えて付き合ってくれる犬、空を泳ぐ透明なムーンフィッシュを釣った少年たち…。私のお気に入り猫。失った飼い主たちに送るお葬式の招待状に載せる猫の名前が素敵。裏表紙の、暗い海の中、猫の頭に乗っている母娘の絵。人間は動物や人間同士も傷つけている存在ではないか？謎めいて魅力的な挿絵。絵を観ているだけでも楽しめる美しい一冊。

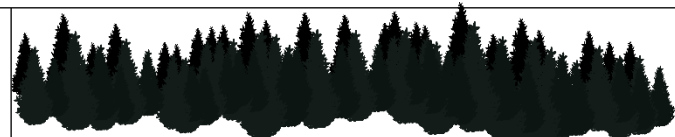
『桜大の不思議の森』香月日輪著 徳間文庫 2012
「神様や妖怪なんてありえない！」という人にこそおすすめしたい香月さんの不思議ワールド。そのなかでも初心者向けの短編集をセレクトしました。特におすすめなのは、作者である香月さんの地元で起きた実話をもとにした『神罰下った』というエピソードです。かなり昔のどこかの田舎、私たちの心にもある原風景を舞台にした少しの怖さと暖かさをはらんだ物語を、ぜひお楽しみください。

『家守綺譚』梨木香歩著 新潮文庫 2006
時は明治。亡くなった友人・高堂の家の管理人として住みはじめた綿貫征四郎。庭のサルスベリに好意を寄せられたり、飼い始めた犬と庭の池に現れた河童が仲良くなったり。果ては死んだはずの高堂が、床の間の掛軸を通してボートに乗って帰って来ることも！日本の四季の美しさ、あの世とこの世の境界の曖昧さなど、どこか浮世離れした空気を楽しめる作品です。

『テンペスト』シェイクスピア作 白水Uブックス 1983
シェイクスピア最後の戯曲です。弟にだまされミラノ大公の座を追われ、娘とともに孤島に閉じ込められたプロスペローは大魔法使いになります。空気の妖精エアリアルを使って弟たちの舟を難破させ、復讐を企てるのですが、娘とナポリ公の息子が恋に落ちて、最後には弟たちを許すという物語。演出家・蜷川幸雄が吉田鋼太郎にプロスペローを演じてほしかったそうです。ラストのシーンで森の妖精たちに別れを告げるときに友人・スタッフや俳優に感謝の言葉を述べてほしいと。「私たちは夢と同じものでできている。そして我らがささやかな人生は眠りと共に終わりを迎える」映画化もされていますからぜひご覧下さい。

『なぜこう見える？ どうしてそう見える？ 錯視のひみつにせまる本 1~3』新井仁之監修 こどもくらぶ編 ミネルヴァ書房 2013
錯視とは視覚による錯覚のことで、例えば、同じ長さのものであっても錯覚により違って見えてしまうことです。種類は他にも、大きさ・色・形などがあります。1巻の「錯視の歴史」では、研究者とともに建築物や図を用いて解説しています。2巻の「錯視の技」では、スピードの出やすい道路には幅を狭く見せるように点線が描かれているものなど現代社会の技を紹介しています。3巻の「錯視と科学」では、脳科学や心理学だけでなく、数学を使った錯視のひみつを解説しています。錯視のおもしろさをぜひ体感してみてください。

『人形たちの白昼夢』千早茜著 PHP 研究所 2017
どこか仄暗く美しい12の短編集。自動機械人形、雪の化身マムウ、罪人…国も時代もばらばら、現実と童話のはざまのような幻想的な世界へ誘われます。どのお話にも登場する青いリボンと人形。表情を変えながらひらひらとなびくりボンに導かれて旅する、ちょっとおとなのファンタジー。



『宇宙授業』中川人司著 サンクチュアリ出版 2006
「空が青いわけ」「どこから、宇宙なの？」「宇宙の昼と夜」など宇宙の不思議な疑問について、元宇宙航空研究開発機構（JAXA）職員で現在、高校の先生をされている著者が、わかりやすく解説しています。見ている星の光が、何万年も前に放れていたかと思うとワクワクしませんか？日常とは違う宇宙の世界へたのしく誘ってくれる本です。

『鏡の国のアリス』ルイス・キャロル著 矢川澄子訳 金子國義絵 新潮文庫 1994

不思議の国のアリスの続編で、鏡の国のおはなしです。鏡の国では、チェスのルールに沿って物語が進行します。それぞれ赤と白の王さま・女王さま・騎士、そっくり兄弟のダムとディー、ハンプティ・ダンプティなど個性豊かな人達が登場します。アリスもチェスの駒として動くのですが、女王さまになって…クッスと笑える場面もあり、今回も不思議な世界をたのしめますよ。

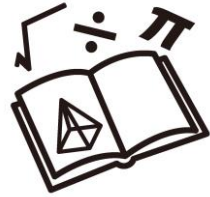
リクエスト本の紹介

『自宅学習の強化書 塾へ

行かなくても成績が超アップ!』

葉一著 フォレスト出版 2021

勉強ってどうしたらいいか、わからない人、参考に読んでみてください。YouTubeにもたくさん動画があります。 数学H・K



新着紹介 『ホワイトラビット』

伊坂幸太郎著 新潮文庫 2020

組織のカネを横取りして消えたコンサルタントをボスに突き出せば、人質にされている妻を返してくれる。誘拐ビジネスをしてる愛妻家はそのコンサルタントを捕まえるため、思い切った手に出る。秘密を抱えた母子、空き巣やマヌケな泥棒コンビ、理不尽に家族を失った警察官…。オリオン座の蘊蓄、レ・ミゼラブルを5年かけて読んでいた泥棒、思い出すのは映画「ダイハード」?…とにかくどんなときもユーモアのセンスを忘れない、伊坂の小説。



今週の空想科学図書館通信第582号は『呪術廻戦』五条悟先生が花御との対決で地面をえぐったのはどのくらいのエネルギーが必要ですか?への答えでした。五条先生 cool!

『シンプルなクローゼットが地球を救う～

ファッション革命実践ガイド』

エリザベス・L・クライン著 春秋社 2020

毎日の服選びが自分と世界を変えていく。必要な服だけ残す方法、リセールや修繕のコツ、社会的アクションの方法まで教えてください。捨てるのではなく、いかに世界の役に立てるか。持たないことがかこよくて、環境にやさしい。一生モノの服を目指して洗濯の方法も吟味しましょう。



『ボブが遺してくれた最高のギフト』

ジェームズ・ボーエン著 辰巳出版 2020

映画化された実話の続編です。野良猫ボブと出会って、ビッグイシューの販売員になり、薬物依存も克服できたジェームズは相変わらず、記録的な寒さのロンドンで生活に困っていた。



出会って3年後の2010年のクリスマスに、ボブがくれたもの…猫のプレゼントなんてうそ臭いって思うよね?でもボブは本当に大切なものをくれたんです。今年公開の映画の原作です。

『見えないスポーツ図鑑』

伊藤亜紗、渡邊淳司、林阿希子著

晶文社 2020

目の見えない人にスポーツの臨場感をどう伝えるか…スポーツを翻訳するとどうなるのか?アスリートの感覚や競技のエッセンスを日用品をつかった動作に「翻訳」したプロジェクトを紹介した本です。見たことがないものを、見えない人に説明するのは何が必要か?スポーツのゲーム性、緊張感、駆け引きや速度、バランス等をラグビー、アーチェリー、体操、卓球、テニス、セーリング、フェンシング、柔道、サッカー、野球。それぞれの競技の要素を分析してどうすれば伝わるか、研究者の真面目な奮闘は、悪いけどちょっと笑えます。



図書館春休み開館日程

3月22日(月)～26日(金)、4月1日(木)、2日(金)、

5日(月)～7日(水) 8:45～16:15

春休み貸出は3月6日(土)から。

4月8日(木)が返却日。

図書10冊借りられます。

松蔭中高図書館



新明解国語辞典が9年ぶりに改訂されました。数ある国語辞典のなかでも非常にユニークな辞典。『新解さんの謎』のなかで赤瀬川原平は「守りでなく攻めの辞書」だと絶賛しています。

今回の改訂ではジェンダー関連の見出し語の解釈が大幅に変更されました。女性差別反対、LGBT(性的少数者)への配慮も反映。

「恋愛」の項目 第7版では「特定の異性に対して…」

第8版 「特定の相手に対して…」

子育てや化粧、家族に関する言葉も「女性が～」という表記を見直しました。それ以外も何かに没頭している状態を示す「沼」やSNSで使う「スタンプ」などネット由来の言葉、「ロックダウン」など新型コロナ関連の語も収め、新語や新項目は約1500語。「数字の読み方」

も新説。以前の版も所蔵していますので、言葉の意味がどのように変わったか、引き比べてみましょう。



『新明解国語辞典 第8版』山田忠雄編 三省堂 2020

映画「心の傷を癒すということ」

NHKのドラマが再編集され、いま映画として公開!

在日韓国人として生まれ、父の期待を裏切って精神科医になった安和隆。阪神・淡路大震災時、“被災者の心のケア”のパイオニアとして奮闘するも、彼は体は病におかされていた…。彼の恋愛、友情、家族と患者たちの絆。柄本佑の演技がすばらしい。

「弱いてええことやで」

「弱いからほかの人の弱いところ分かって助け合える」

ベースとなった著書『心の傷を癒すということ 神戸…365日』安克昌著 作品社 1996、所蔵しています。ロケ地としてルミナリエ等、神戸の各所がでできます!

